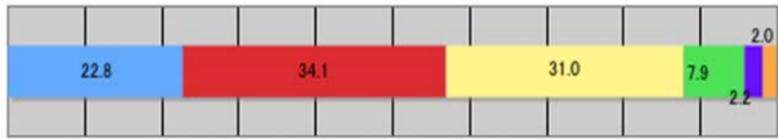


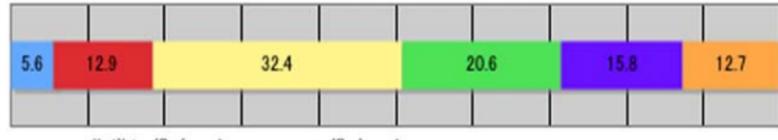
卒業生アンケート

9割が「筑波大を勧める」

高校などの後輩に筑波大学を勧めますか



筑波大学の就職支援は役立ちましたか



「大いに勧める」は22.8%、「勧める」は34.1%、「どちらかといえば勧める」は31.0%、「どちらかといえば勧めない」は7.9%、「勧めない」は2.0%。筑波大学の就職支援は役立ちましたかという設問では、「非常に役立った」は5.6%、「やや役立った」は12.9%、「役立った」は32.4%、「やや役立たない」は20.6%、「役立たない」は15.8%、「全く役立たない」は12.7%。この結果から、卒業生は筑波大学の就職支援を肯定的に評価していることがわかる。また、「非常に役立った」と「やや役立った」を合わせて58.5%、「役立った」と「やや役立たない」を合わせて73.0%と、ほとんどの卒業生が就職支援を肯定的に評価していることがわかる。

就職支援には不満も

本学初 継続で改善の成果を観察

本学の教育の成果を検証するために、教育企画室と学務課が中心となって実施した「卒業生に対するアンケート調査」の結果がまとまった。集計では、高校の後輩などに本学を勧めるという回答が9割近くに上り、卒業生の本学に対する満足度が高いことがわかった。一方で、就職支援や、事務職員の対応に対しては不満も見られた。本学が全学的な卒業生アンケートを実施するのは今回が初めて。今回のアンケートは3月23日の卒業式終了後に実施し、卒業生2431人中1956人(80.4%)の回答を得た。マークシート方式で、「満足」と「不満」を選択するようになり、「やや満足」と「やや不満」でもなく「満足」と「不満」を占める割合が半数を超えた。この結果から、卒業生は本学の教育の成果を肯定的に評価していることがわかる。また、「非常に役立った」と「やや役立った」を合わせて58.5%、「役立った」と「やや役立たない」を合わせて73.0%と、ほとんどの卒業生が就職支援を肯定的に評価していることがわかる。



第262号
編集責任 筑波大学新聞 編集委員会 委員長 中村紀一
TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊
発行所 筑波大学 茨城県つくば市 天王台1-1-1

入学案内 9割が「有用」 広報活動への重点探る

新入生アンケート

広報戦略室(室長 連見孝教授・芸術)とアドミッシンセンター(センター長 白川友紀教授・知機)が4月に実施した「新入生に対するアンケート」の結果がまとまった。集計では、入学案内の有用性が9割近くに上り、広報活動への重点が探られることがわかった。今回のアンケートは、本学を受験する学生や家族に対する広報活動をどのように展開していくべきかを把握することを目的としたもの。フレッシュマンセミナーなどを利用して実施され、新入生2270人中2062人(91%)の回答を得た。広報戦略室が全学的なアンケートを行ったのは初めて。今回のアンケートは、本学を受験する学生や家族に対する広報活動をどのように展開していくべきかを把握することを目的としたもの。フレッシュマンセミナーなどを利用して実施され、新入生2270人中2062人(91%)の回答を得た。広報戦略室が全学的なアンケートを行ったのは初めて。



梅雨の季節に入り、紫陽花が赤、青、白の花を咲かせている(球技体育館前で) [撮影・関田航一(体育専門学群)]

今回のアンケートは、本学を受験する学生や家族に対する広報活動をどのように展開していくべきかを把握することを目的としたもの。フレッシュマンセミナーなどを利用して実施され、新入生2270人中2062人(91%)の回答を得た。広報戦略室が全学的なアンケートを行ったのは初めて。今回のアンケートは、本学を受験する学生や家族に対する広報活動をどのように展開していくべきかを把握することを目的としたもの。フレッシュマンセミナーなどを利用して実施され、新入生2270人中2062人(91%)の回答を得た。広報戦略室が全学的なアンケートを行ったのは初めて。

今回のアンケートでは、入学案内の有用性が9割近くに上り、広報活動への重点が探られることがわかった。今回のアンケートは、本学を受験する学生や家族に対する広報活動をどのように展開していくべきかを把握することを目的としたもの。フレッシュマンセミナーなどを利用して実施され、新入生2270人中2062人(91%)の回答を得た。広報戦略室が全学的なアンケートを行ったのは初めて。

改革元年

学群改組を迫る

「よのわりのやすみ」。「実質的な学群教育」を行うことを目指して編成された新学群。受験生や社会にとって分かりやすくなった体制で、各学群はどのような特色を發揮していくのか。人間学群は人間学類が学群化し、教育、心理、心身障害の各専攻が学群として独立して誕生した。「改組の過程で、この学群はどのような研究・支援を推進していくのか。」

6年一貫制も視野に

資格取得コース設置へ

また、人間学群は改組を機に、カリキュラムを大きく変更した。学期完結型やコマ連続の授業の開設、2単位が4単位を基本とする科目構成などを行った。社会福祉士

環境

生命

「改組の段階で、多くの教員が「教育とは何か」という根本的な課題と向き合えた」と、工藤典雄副学長(教育担当)は語る。新たな学群教育をどう構築していくか。本学の今後の取り組みを、社会が注視している。(本紙・齋藤電太比較文化学群)

紙面から
第三エリアA棟改修 厚生施設一時休業
国際学生科学技術フェア 吉田さん4等受賞
女子バスケット 15年越し悲願のV
陸上全日本インカレ 7種目を独占制覇
スラムアップ 早期卒業導入から5年
宿舎祭 祭りに恋したやどかり達

特集 6,7
留学生が語る 筑波という日本の生活
ミニ特集 3
つくばで集う故郷の仲間 本学の県人会をめぐる

立った および「少しは役立った」という回答が90%を超えた。また、「受験生の立場で本学のホームページに掲載すべき情報としてどのようなものが必要か」という問いには、授業内容が23.6%大学の様子(施設設備、学習生活の様子)が28%を占めた。「本学に入学することを決定付けた助言者は誰か」という問いには「自分だけで決めた」という回答が4割近くに達した。今回のアンケートでは、広報活動で重点を置くべき箇所を把握できた反面、3つの設問で「その他」の回答が20%を超え、設問に対するよりきめ細かい回答設定などの課題が残った。アンケートについて連見教授は「各支援室を通じて各学群・学類へ報告することにも、学生にはチューターなど周知し、有効に活用したい」と語った。

ソニーグループ ネットワーキング サービス「ミクシィ」の登録者数が1千万人を超えた。ミクシィが誕生してから3年余りだが、急速に人々の間に浸透しつつある。ミクシィは、登録に会員登録の必要とされている。健全で安心な居心地の良いコミュニティを作るため、日記やプロフィールを自分の友人にしか公開しないように設定することもでき、実名や住所などを公開している利用も多い。ミクシィで「筑波大学」というキーワードで検索すると3000件近くの登録者が見つかった。学類、出身高校など詳細なプロフィールや顔写真を載せている人も少なくない。日記には友人関係やアルバイト先など個人情報があふれている。プロフィールや日記を非公開にしても決して安心はできない。紹介文や友人関係から個人を特定することは難しいことではない。昨年11月には、ミクシィに登録していた女性のアルバイト写真がネットに流出し、実名や出身高校が特定されるという事件も起きた。アイヌ民族初の国会議員、故・菅野茂は「言葉は足を持って」と考えた。言葉は自分の心を離れた瞬間から独り歩きし始める。ゆっくりに歩くと言葉もあれば、立ち止まると言葉もある。しかし、自分の知らないところで暴走する言葉もあることを忘れてはならない。



つくば 歳時記
梅雨の季節に入り、紫陽花が赤、青、白の花を咲かせている(球技体育館前で) [撮影・関田航一(体育専門学群)]

第三エリアA棟 改修工事

厚生施設が一時休業に

食堂の休業11月まで

講義室は3月まで使用禁止

第三エリアA棟で、7月から9月にわたって、耐震工事を進め、大きな騒音を伴う工事は休業中に行う講義室や実験室が3月まで使用禁止になるほか、第三エリア大食堂などの福利厚生施設が11月まで休業する。学生生活課では第二エリアで販売する弁当の増産や、パン販売の強化によって、食堂休業に伴って発生が予想される「昼食難民」問題の軽減を図るといふ。

宿舎リニューアル

モデルルームを公開

「きれい」と来場者に好評

第三エリアA棟で、7月から9月にわたって、耐震工事を進め、大きな騒音を伴う工事は休業中に行う講義室や実験室が3月まで使用禁止になるほか、第三エリア大食堂などの福利厚生施設が11月まで休業する。学生生活課では第二エリアで販売する弁当の増産や、パン販売の強化によって、食堂休業に伴って発生が予想される「昼食難民」問題の軽減を図るといふ。

宿舎の将来的な建て替えを見据えた学生宿舎リニューアル計画の、リニューアル後の居室の様子を学生に見てもらおうと、宿舎の一部をリニューアルし、モデルルームとして公開している。壁や天井を塗り替え、床をフローリングに、補修やトイレを新しくしたモデルルームは、約1万円から2万円と

いる。学生生活課では、販売する場所を確保できた場合、販売を要請する方針だ。同社つば事業所の佐藤綾男所長は「現在50〜60個の弁当を生産しているが、その5倍程度に生産を増やすことを考えている。種類も増やして販売する予定だ」と語った。



見学者から「数十年後も清潔なままか」という声も(補食室で)

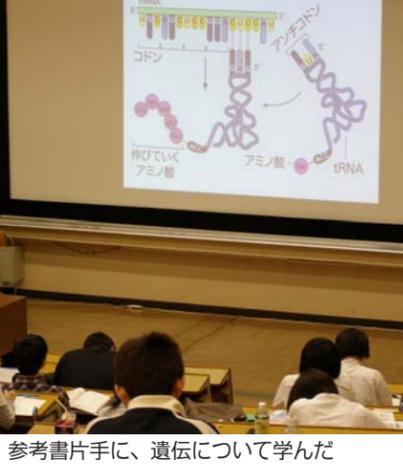
生物学リメディアル

高校生物非履修者に講義

附属学校教諭を招く

生物の知識を前提とする学類に所属しながら、高校生物を履修していない学生を対象に「生物学(リメディアル)」が5月19日〜6月16日にかけて、医学臨床講義室Aで開講された。附属学校の教諭が講師を務め、医学類の1年生を中心に79人の学生が参加した。

講義は、5月19日〜6月16日まで毎週土曜日(ただし6月2日は除く)の午前10時から午後3時まで行われた。本学附属駒場中・高等学校の仲里友一教諭と、附属高等学校の山田剛教諭の2人が講師を務め、遺伝分子遺伝、代謝の領域について学生に説明した。



参考書片手に、遺伝について学んだ

生物の知識を前提とする学類に所属しながら、高校生物を履修していない学生を対象に「生物学(リメディアル)」が5月19日〜6月16日にかけて、医学臨床講義室Aで開講された。附属学校の教諭が講師を務め、医学類の1年生を中心に79人の学生が参加した。

講義は、5月19日〜6月16日まで毎週土曜日(ただし6月2日は除く)の午前10時から午後3時まで行われた。本学附属駒場中・高等学校の仲里友一教諭と、附属高等学校の山田剛教諭の2人が講師を務め、遺伝分子遺伝、代謝の領域について学生に説明した。

物の問題は出題者の意図が分からずと解けず、物理の方が得点しやすい。受験の効率が履修の偏りについて語った。

取得説明会を初開催 小学校教諭免許 学生100人以上が集まる

小学校教諭免許取得に関する説明会が6月5日、2H101で行われ、100人以上が集まった。小学校教諭の免許は、本学のカリキュラムでは本来取得することができないため、昨年度個人的に問い合わせた人数程度しか取得していない

かった。2年前に全代会が教職関連の授業を行ったアンケートでは、半数を超える学生が小学校教諭の免許を取得したいと回答した。学生の要望に応え、今回初めて説明会が開かれた。

就職率 87%と変わらず 徹底した追跡調査を実施

昨年度の本学生の就職率が6月7日、まとまった。就職率は87%で、一昨年度の88%と変わらず、例年並みの結果となった。昨年度、246人いた進路不明者は、追跡調査を徹底した結果19人に減り、より正確な集計結果が出た。

人文社会科学部 博士課程の区分制を検討

昨年9月から今年1月にかけて、人文社会科学部が希望する学群生を対象に実施した「研究科の改組に関するアンケート」の結果がわかった。

ウズベキスタン 本学第2の海外拠点

本学2番目の海外拠点として「筑波大学中央アジア国際連携センター」が6月1日、ウズベキスタン共和国の首都タシケントで発足した。

39歳男性准教授 飲酒運転で懲戒処分

飲酒運転により自動車事故を起こしたとして、本学は5月30日付けで、39歳の男性准教授を懲戒3カ月の懲戒処分にした。

小西 基一氏(こにし・じんいち)は本学名誉教授。5月26日に死去、91歳。妻は妻・晃子さん。

国際学生科学技術フェア

吉田さんが4等賞を受賞



4等受賞後の吉田さん(米ニューメキシコ州で) (提供=NPO法人日本サイエンスサービス)

粘菌の特性、ロボットへ

光への反応で運動制御

世界中の高校生が集まり、研究を発表し合う「国際学生科学技術フェア(ISEF)」が5月14日から、米ニューメキシコ州で開かれた。5月18日のグラッドアワードの発表で、吉田翔さん(生物1年)が材料・バイオ工学部門4等賞を受賞した。同フェアは「科学のつ学習能力を、ロボット

の制御に応用したものだ。これまでのロボットは、人が作ったプログラムでしか動くことができなかった。柔軟性や創造性が持たないという欠点があった。吉田さんはその欠点を克服するべく、生物の持つ「知性」によってロボットを動かすことを試みた。今回の研究で用いたモジホコリカビという粘菌は、光を避けるようにして変形し、光が当てられた方向を記憶するという特性を持っている。吉田さんは粘菌の動きを検出し、ロボットに反映させるシステムを作成した。粘菌をロボットに応用した研究としては、英サウサンプトン大学のクラウス・ピーター・ザウナー氏が昨年発表した研究がある。し

かしそれは粘菌を光センサーとして利用しただけで、運動制御に応用したのには大きな意味があると吉田さんが初めて話した。吉田さんは今回の受賞について、「授賞式は緊張したが刺激的だった。生物の力をロボットに応用することには大きな意味があると吉田さんが初めて話した。粘菌を使った研究をしていく漆原秀子教授(情報生

農村の古民家を開放

散歩や喫茶を楽しむ

改修した古民家を開放し、くつろげる空間を共有しようとする「不破正仁さんシブコリカビ」という粘菌は、光を避けるようにして変形し、光が当てられた方向を記憶するという特性を持っている。吉田さんは粘菌の動きを検出し、ロボットに反映させるシステムを作成した。粘菌をロボットに応用した研究としては、英サウサンプトン大学のクラウス・ピーター・ザウナー氏が昨年発表した研究がある。し

活動のきっかけは05年7月、小山さんが知り合いの親戚に古民家の大掃除を一緒にやろうと話を掛けられたことだ。もともと農家の離れとして明治後期に建てられ、50年以上も放置されていた古民家は、畳が腐り、ほこりやカビでいっぱいだった。掃除をするうちに昔の民具や食器の魅力に気づいたという。古民家は、近くの田舎(みかづき)神社にちなんで「月出庵(みかづきあじ)」と名付けた。1月、2回の掃除を終え、同年11月に一般開放する。3日間、約80人が集まった。この第一回開放イベント「おうち展」では、古民家から出てきた物を販



原点

私は現在、文化人類学を専門として研究に従事しているが、学問の歴史の出発点は現在とは多少異なる。大学の学部時代に専攻していたのは動物生態学である。しかしながら、それが真の原点かと問われれば、答えは否である。さらに遡れば、また視野を広げて考える必要がある。子供のころ、19世紀の博物学に興味をもち、小学生時分には上野の科

「雑多な関心」が研究の原点 野帳を片手に観察眼養う



風間 計博

ある。大学に入ってから私は、生物学、特に生態学の基礎を学ぶ一方で、文学作品や哲学書を少ししかじり、美術館や映画館に足しげく通っていた。こうした雑多な関心の持

ある。この点についても私は、水圏生態系調査の一環として、胸高のゴム長靴を履き、スコップやバケツを手にしてハイライトを口にくわえ、干潟や水田、湖沼で文字通り野帳を片手に随時メモをとる癖が身につく。多少なりとも対象への観察眼が養われたのだと思う。そしてポリネシアへ旅行に出た際、偶然知り合った年配男性の家に泊めさ

かさま・かずひろ 1964年生まれ。人文社会科学部研究科歴史・人類学専攻准教授。東北大学理学部生物学科卒、総合研究大学院大学文化科学研究科修士。国立民族学博物館COE研究員を経て、2000年、筑波大学に着任。専門は文化人類学、オセアニア社会論。



失敗の事例から学ぶ 失敗百選

41の原因から未来の失敗を予測する

中尾政之著



坪内 孝司

私は移動ロボットに関する開発・研究をしていく。新しいチャレンジには、失敗に帰しそうな要因をできるだけ拾い、その要因を踏まない設計が何より大切である。それは工学系の学生が優秀なエンジニアとして社会で活躍するためにも必要だと考えている。学生には『想定外』を『想定内』にするべく、たま書店で本書を見つけた。本書を眺めれば、失敗の事例の整理法を具体的に示し、失敗を教訓として生かす努力の末の著作で要素が見て取れる、とい



古民家でくつろぐ人々(つくば市吉瀬で)

「ゲストにパクンマクン」がステイから降りて、来場者に話しかけるといった場面もあった。「パクンマクン」が5月23日午後2時から、大学会館講堂で行われた。NHK水戸放送局の協力のもと、本学就職課とキャリア支援室が主催した。ゲストはお笑いコンビのパクンマクン。冒頭では腰塚武志副学長(学生生活担当)が「学生が変わる瞬間には、何かしらの感動がある。今日は、堅苦しくならず、感動して話してほしい」と話した。会場には約250人が訪れ、トークショーは終始笑いが絶えない和やかな雰囲気であった。時にはゲストの愛情表現の違いなど、さ

あることは一目瞭然であった。早速本書を持ちレジに走ったのは言うまでもない。この分類にしたがって200程度の事例が解説されているのである。その事例も、チェルノブイリ原発の事故から著者の身近なヒヤリ事例、テロリストの活動事例まで、実に幅が広い。「失敗」あるいは「事故の原因を正しく求め、同じ轍(つち)を踏まないように努力を払うこと」で連結する——という作業は多額のお金、あるいはその行為者の社会的信用を失わずに済む、ということこそ本書は教えてくれる。今私の座右の書の一つである。(森北出版・3780円) (知機・教授)

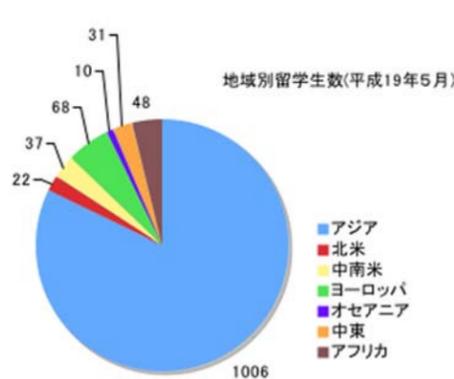


調理支援の様子。ロボットが後方から行動を指示する

最近、テレビなどでよく耳にする「ユビキタス」という言葉。一般的に「ユビキタス」とは、「ユビキタスコンピューティング」を指し、生活の中

留学生が語る

筑波という



本校の留学生の特徴
平成18年度時点。留学生の内訳を見ると、大学院が8割、学群が2割で大学院に多いのが特徴だ。留学生の地域別内訳では、日本全体でアジアが9割を占める

専門家の視点から

文化や宗教が異なる留学生と友好な関係を築く秘訣はないのだろうか。留学生センターの教員と、宗教間対話を専門とする教員に話を聞いた。

相互理解で友好を

「本学生は基本的には人がよい。留学生は基本的に親日感情を抱いて帰っている。我々にはできる範囲で相互理解を進めようが、卓の根の友好関係構築につながる」と、塩尻教授。また、鈴木准教授は「文化的ギャップを隔たりと捉える必要はない。相互理解は、

本学の対応

本学では留学生センター内に留学生相談室が設置され、2人の相談員が留学生の悩みを聞いている。相談の内容では、意外にも文化的背景の違いからくるものも少なく、自分の研究のことや将来のこと、経済事情に関するものが多いという。しかし、勉強の相談に来た学生でも悩みの原因が心の健康状態にあるというケースがある。相談員の森直教授(物産)は「相談室は留学生が自分自身で問題を解決する支援をしていく」と話す。

バイトは入管許可必要 習慣や生活への配慮を

「人間性」が問われることになり、変わりはしないようだ。合う相手が留学生であれば、結局は人間と人間の関係性に帰結する」と語る。付き合う相手が留学生であれば、課題を解決する支援をしていく」と話す。また、留学ビザを持つ学生は、法務省入国管理局の許可なしではアルバイトが許されず、教員の手伝いに対する謝礼金をもらっただけでも違反になる。そのようなことを知らない教員もいるため、留学生センターでは教員に留学生を受け入れる際の注意点を載せたパンフレットを配っている。文化の違いから来る学生生活への対応が進んでいると、言葉にならない現状にある。

調理支援システム

データ飛び交う台所 行動予測で調理補助

このシステムがまず初めに行うのは、さまざまな情報の認識だ。食材、食器、調理器具などに付属したICタグを、キッチン内の食材庫、食器棚、調理スペースなどに設置したセンサーで読み取る。また、キッチンに設置した種類のカメラ(CC



卒業生からの手紙

蒸し暑い筑波の初夏、在学生の皆さんは勉強に、部活動に、遊び(?!?)に動じていることだと思います。さて、私が社会人として筑波を離れて、はや7年目となります。今回の「卒業生からの手紙」と題した原稿の依頼を受け、「今の学生の皆さんにどのようなことをお伝えしようか……」と想いをめぐらせていると、私が皆さんにお伝えする事が柄よりむしろ、私から皆さんに尋ねたい事柄の方が多いことに気づかれました。



第二の「故郷」つくば 塾講師 T・Oさん

私は、自分の懐古趣味がそこまで強いとは思っていません。(まだ30になっただけなのに) すでに老けてはいないはず!! しかし、やはりここまで「変わって」いるからです。では、こんなことを皆さんにお聞きしたいかと「つづ……」 「電車が開通した今も、学生みんなが宿舎住まいをしていて、あのころと同じような雰囲気ですか?」「松見公園の桜は今も新緑コンパの名所ですか?」「春日のRanRanは今もあの大盛のままでしょうか?」など。くたらないことが多いのですが、要は「あのころの」一つひとつが失われていないかどうか気がなるんです。

茗溪山脈 体育・スポーツ列伝

峯岸米造・茗溪剣道の源流

幾多の剣士を輩出し、剣道教育の聖地である本学剣道部。しかし明治半ば、武道が軽んじられる欧化政策の時代において、その創生期は苦難の連続だった。そんな時代に、本学の前身である東京高等師範学校の剣道部



大禮記念章を受勲した頃の峯岸米造

校長となった。1891年には、当時勤務していた東群馬南勢多高等小学校在職のまま、東京高等師範学校に入学した。

以前から剣道の稽古に熱心に励んでいた峯岸だが、当時は文明開化の時代。教育界においては旧来の武道による教育は行われていなかった。当時の剣術は、1876年の明治政府による廃刀令の影響を受け衰退して

高師剣道部の誕生秘話

欧化政策の波越え結成

たど香田秀剣道部長(体育・准教授)は語る。竹刀や胴着は教育には不要とされ、西洋式の軍事教練による心身鍛錬が取り入れられた。そのような時代背景の下、剣道は衰退し、明治日本の教育育成を担う東

京高師においても、指導者らしい状況はなかった。用具に至っては防具が乏しく、峯岸は一人雨天陸上競技場の土間で稽古に励んでいた。やがて、先輩や同級生が峯岸の稽古に加わるようになった。また、当時附属教育博物館で警備員として勤務していた、元警視庁警部の藤田五郎が指導に当たったようになっ

た。この時、苦しみられた。この時、刀で政府軍を助けたのが、土族からなる警察の部隊だった。なお、藤田五郎も警視庁抜刀隊に加わって参戦している。

その後、高師剣道部は東京教育大剣道部、筑波大剣道部と名を変え、今に至る。峯岸が土間で始めた一人稽古を源流とする茗溪剣道の歴史は、大河となって受け継がれている。(本紙・水田武人、日本語・日本文化学類)

15年越し悲願のV

宿敵・日体大を大差で下す

バスケット

今年度の新チームで初めての公式戦となる第41回関東女子学生バスケットボール選手権大会が、5月12-27日にかけて、国立代々木

競技場第2体育館(東京・渋谷区)など14会場で開催された。本学女子バスケット部は決勝リーグの3試合で、20点以上の差をつけ快勝。15年振りの11回目の優勝を果たした。

本学は決勝リーグで、昨年度同大会とインカレを制した日体大と対戦した。本学は相手選手に張り付く粘りのディフェンス、日体大はゴール下の堅いディフェンスで守り、試合は前半5点前後の僅差で推移した。

早稲田大との最終戦では日体大戦同様、両チームともに堅く守る。中盤で早大に5点前後のリードを許したものの、後半に入ると大鷹さおり(同2年)や184センチの大型新人服部直子(同1年)らもシュートを決めて一気に攻め

た。結局83-57で大勝利、優勝を決めた。試合後、主将の鈴木は結果は予想以上だった。自分たちのレベルアップを実感できている」と語った。また、内山監督はこの大会のタイトルは、どうしても取りたかったものだ。今後、

個人賞は以下の通り。▽最優秀選手賞 鈴木あゆみ▽新人賞 服部直子▽ベスト8賞 伊藤奈月



シュートを放つ有明(国立代々木競技場)

本学は決勝リーグで、昨年度同大会とインカレを制した日体大と対戦した。本学は相手選手に張り付く粘りのディフェンス、日体大はゴール下の堅いディフェンスで守り、試合は前半5点前後の僅差で推移した。

今年のチームの方針では、中盤は粘って辛抱。後半から一気に攻める」と、内山治樹監督(体育・准教授)は試合後半に入ると、主将の鈴木あゆみ(体専4年)、有明奈月(同3年)、伊藤奈月(同3年)ら主要メンバーは全員が得点を重ねた。日体大の攻撃も粘り強いディフェンスでしのぎ、80-53で快勝した。

7月に行われる全日本女子学生剣道選手権大会の予選を兼ねた第39回関東女子学生剣道選手権大会が5月19日、東京武道館(東京・足立区)で開催された。455人が出場し、本学からは11人が出場した。昨年の同大会で3位入賞した佐久間陽子(体専4年)が優

勝、鈴木愛梨(同2年)が3位入賞をそれぞれ果たした。本学から8人が全日本学生大会に出場する。初戦から順当に勝ち上がった佐久間は、準々決勝で袖崎舞(同4年)、準決勝で鈴木と、2度の本学対決を制した。決勝では神原麻衣(清和)と対戦。佐久間は開始間もなく相手の出端をどろえ、面の有効打

を決めた。その後は、互いに有効打はなく、そのまま佐久間の勝利が決まった。佐久間は「全日本の出場権を得られ、同時に優勝という結果も出せてよかった。ほっとした」と喜びを表した。全日本学生大会に向けては「二つひとつの試合を大切に、挑戦者の気持ちをお忘れずに頑張る」と意気込みを語った。

佐久間、堂々の優勝

本学から10人が全国へ

勝、鈴木愛梨(同2年)が3位入賞をそれぞれ果たした。本学から8人が全日本学生大会に出場する。初戦から順当に勝ち上がった佐久間は、準々決勝で袖崎舞(同4年)、準決勝で鈴木と、2度の本学対決を制した。決勝では神原麻衣(清和)と対戦。佐久間は開始間もなく相手の出端をどろえ、面の有効打

準決勝で佐久間と対戦した鈴木は、3位入賞よりも全日本に出場できるのがよかった。全日本では一戦一戦しっかりとびのびとやりたい」と意欲を見せた。有田祐二監督(体育・講師)は「みんな力はあるにせよ、今回の結果は出来過ぎ」と語った。また、全日本学生大会に向けては「全員優勝できる力はあるが、剣道の試合は蓋を開けるまで分からない。試合の結果よりも、後悔しないように持っている力を全て出す」と意気込みを語った。

しいと選手達を激励した。全日本学生大会には佐久間、鈴木のほか、ベスト8の袖崎、菊池愛力(体専3年)、小松澤映史(同3年)が出場する。

全日本学生剣道大会の予選を兼ねた第59回関東学生剣道選手権大会が5月6日、日本武道館(東京・千代田区)で行われた。本学からは8人が出場し、ベスト32の吉田将志(体専4年)、高橋健(同3年)の2人が最高成績で、全日本学生大会に出場する。鍋山隆弘監督(体育・講師)は「期待はしていたが、成績には結びつかなかった。全日本では思い切りやってみよう」と話した。



激しく打ち合う佐久間(手前、東京武道館)

小山は「2年後にスイス卒業生の檜皮貴子(東京芸術大助教)、森大輔(富士電機)が活躍し、日本チーム初の銀メダルを獲得した。団体戦でも、小山と本



表彰式で。左が小山(提供=長谷川聖修准教授)

山信博(人間総合4年)が跳躍部門で2位に輝いた。2003年に森大輔当時、数物1年)が銅メダリストとなつて以来の快挙。他にも、森口更紗(体専4年)が跳躍部門で9位に入賞、平倉朝映子(人間総合2年)が成人女子総合19位と健闘した。小山は、転がしたラートの上を跳躍して、技の難易度や美しさ、雄大な姿を競う跳躍部門に出場。前回のドイツでの大会では着地に失敗した最高難易度の技、2回転前抱え込み跳びを決めた。この技で最高点を獲得。もう一つの技を合わせ

て、平均9.5点を獲得した。1位の選手の9.9点には届かなかったが、他の選手を寄せ付けない高得点で表彰台に登った。

世界ラート競技選手権 小山 跳躍部門で2位 本学卒業生も団体に活躍

7月に大阪で開催される総理大臣杯全日本サッカーリーグ後半へ向け復調か

小山は「2年後にスイス卒業生の檜皮貴子(東京芸術大助教)、森大輔(富士電機)が活躍し、日本チーム初の銀メダルを獲得した。団体戦でも、小山と本

体操

第7回世界ラート競技選手権が5月16-19日にかけて、オーストリアのザルツブルグで開催された。小

1回戦で東京農業大に1-0で勝利し、代表決定戦で前半戦を2位で終えた駒澤大と対戦。リーグ戦は不本意な成績に終わった本学が復調の兆しを見せた。

4月から国立西が丘サッカー場(東京・北区)など会場に行われている関東大学サッカーリーグは、5

4月から行われていた関東大学王者を決める春季関東バレーボールリーグの1部リーグが5月20日閉幕した。本学女子は3位、男子は6位に終わった。春季リーグでは全8チームが予選リーグ7試合を行い、その結果、上位・下位4チームに分かれ、決勝リーグを

小山は「2年後にスイス卒業生の檜皮貴子(東京芸術大助教)、森大輔(富士電機)が活躍し、日本チーム初の銀メダルを獲得した。団体戦でも、小山と本

小山は「2年後にスイス卒業生の檜皮貴子(東京芸術大助教)、森大輔(富士電機)が活躍し、日本チーム初の銀メダルを獲得した。団体戦でも、小山と本

小山は「2年後にスイス卒業生の檜皮貴子(東京芸術大助教)、森大輔(富士電機)が活躍し、日本チーム初の銀メダルを獲得した。団体戦でも、小山と本

女子3位 今後に期待

4月から行われていた関東大学王者を決める春季関東バレーボールリーグの1部リーグが5月20日閉幕した。本学女子は3位、男子は6位に終わった。春季リーグでは全8チームが予選リーグ7試合を行い、その結果、上位・下位4チームに分かれ、決勝リーグを

小山は「2年後にスイス卒業生の檜皮貴子(東京芸術大助教)、森大輔(富士電機)が活躍し、日本チーム初の銀メダルを獲得した。団体戦でも、小山と本

全日本インカレ 7種目を独占制覇

男女とも、総合優勝は成らず

ユニバーシアド 齋藤、品田、土屋が出場へ

陸上

第76回全日本大学対校陸上競技選手権第24回ユニバーシアド競技大会日本代表選手最終選考競技会が6月8-10日にわたり、国立競技場(東京・渋谷区)

で行われた。本学勢は男女合計7種目で優勝を果たしたが、対校得点で競う総合優勝では、男子は4年ぶりの優勝を、女子は18年連続の優勝を果たすことができなかった。



小雨の中、男子2000mを制した齋藤(左から2番目)

男子は最終戦で東女大と対戦した。試合は序盤から本学が優位に立ち、開始9分までに速攻で6点を奪い、8-3に。その後は一進一退の攻防が続く。結局16-13で前半を折り返した。後半に入ってから、堅い守りで東女大の得点を抑え、ミスを誘う。後半開始10分には26-15と大きくリードした。最終は東女大の中心選手、13番張素姫に攻め立てられる場面もあったが、追いつかれることはなかった。

師は「優勝が常に求められる中でプレッシャーもあったが、負けたことで今後の力につながっていくと思う」と話した。

同大会の結果を受け、今年8月にバンコクで行われる第24回ユニバーシアド大会へは品田直宏(体専4年)、齋藤、土屋の3人の出場が決定した。

最終日は、男子走高跳で土屋が優勝、守田が準優勝となり、本学勢で1、2位を独占した。土屋は2010を1回でクリア。2010を終了した時点で、クリアしたのが土屋と守田のみだった。

その後、土屋は2016を1回でクリア。2019は失敗に終わり、記録は守田と同じだったが、2010を3回目でクリアした守田が準優勝、土屋が優勝となった。

関東インカレに続き、優勝を果たした土屋だが、記録は伸びなかった。「低い高さはパスしていたので、コンディションの維持が難しかった」と振り返った。今後については「日本選手権で、世界陸上のB標準である2010を突破したい」と、世界へ意欲を見せた。

男子2000mで齋藤、女子砲丸投げでは美濃部が貴日本選手権に向け、疲れは抜いて、気は抜かないように準備はできていた」と振り返った。主将の品田は「リレーでは勝つとチームが波に乗るので、疲労もあったが気持ちで走った」と話した。

関東インカレに続き、優勝を果たした土屋だが、記録は伸びなかった。「低い高さはパスしていたので、コンディションの維持が難しかった」と振り返った。今後については「日本選手権で、世界陸上のB標準である2010を突破したい」と、世界へ意欲を見せた。

女子、3季連続優勝

男子3位も、得失点差でトップ

ハンド

大学ハンドボールの関東王者を決める、関東学生春季リーグが4月14日-5月20日にかけて、国立競技場(東京・多摩)

女子は最終戦で東女大と対戦した。試合は序盤から本学が優位に立ち、開始9分までに速攻で6点を奪い、8-3に。その後は一進一退の攻防が続く。結局16-13で前半を折り返した。後半に入ってから、堅い守りで東女大の得点を抑え、ミスを誘う。後半開始10分には26-15と大きくリードした。最終は東女大の中心選手、13番張素姫に攻め立てられる場面もあったが、追いつかれることはなかった。

首都大学野球春季リーグ 東海大に敗れ2位 打線沈黙 安定感が課題

6チームで戦う首都大学野球春季リーグは6月3日、全日程を終了した。前回秋季リーグ覇者の本学硬式野球部は東海大に敗れ、2季ぶりの2位に順位を落とした。13試合で9勝3敗1分だった。

本学は今年、層の薄さが課題となっていた。エース・坪井俊樹(体専3年)に次ぐ新戦力が育ってきいてはいるが、調子のいいときと悪いときに差があるなど安定感が欠けていた。攻撃面では、3、4番がチャンスを作るも、5、6番にヒットが出ず、打線がつかないことが多かった。

優勝決定戦となった東海大との第3戦に、今季の敗因がうかがえた。両校は勝ち点、勝率で並んでいた。本学の先発は坪井。同点で迎えた五回裏、連続押し出し四球などで3点を失う。本学は八回裏に真木宏(同4年)の三塁打で1点を返したが、東海大の二番手に抑えられ、6-3で敗れた。

川村卓監督(体育講師)は「個人の力だけでは勝てない。お互いを理解し叱咤激励しながらチーム力をアップさせたい」と来季への構想を語った。

表彰選手およびベストナインは以下の通り。▽坪井俊樹(体専3年・最優秀投手)

練習で鍛えたロングシュート



一監督(体育・教授)は「相手のブロックを避けながら打つのが非常に難しい。お互いを理解し叱咤激励しながらチーム力をアップさせたい」と来季への構想を語った。

顔

昨年度、春・秋のリーグ戦に続きインカレを制し、3冠を達成した本学女子ハンドボール部が、今季も好調だ。春季リーグを全勝優勝し、個人賞には全大学中最多の5人が輝いた。

その時の悔しさが忘れられないという。作内は「大学では絶対に3冠を獲得」と心に決めていた。

春季リーグ 優秀新人賞 作内杏那(体専1年)

決して、強気なタイプではないという。精神的に弱いからこそ、常に自分と向き合っていく。成長するのには、戦う相手は、いつも自分。特に目指している選手はいない。作内の胸の内には「完璧な選手」に少しでも近づきたいと、永遠の目標だ。(本紙・小笹諒介(体育専門学群))



欽ちゃん、香取慎吾と記念撮影する本学生

全日本大賞 本学生にアイデア賞

青木さん(国総)ら10人が出場

日本テレビ系列で5月5日に放送された第78回全日本仮装大賞に本学生が10人出場し、アイデア賞を受賞した。出場したのは青木ももこさん(国総2年)やエンスの学生2人を含む10人。第73回大会でも国総の学生が優勝し、第74回大会では芸専の学生が優勝している。

今年受賞した作品のタイトルは「そして、ちやちやちゃんになる」。掃除が終わった部屋にボールが飛んできて、部屋の中の物が当たり、ドミノのように物が倒れ、部屋がぐちゃぐちゃになっ

ていくというストーリーだ。日用品を使ってドミノを作る「タコライス」などという教育番組からアイデアを得たという。青木さんを含む今回中心となった3人のメンバーは、1月に行われた前回の大会も国総の先輩と一緒に予選に出場した。結果は予選落ちだったため、悔しさをバネに今回のスタジオ進出を果たした。

2月半ばから準備を始めた。作品のセットが大きいので、図書館下の通路で作業したという。青木さんは「なかなか思い通りの絵にならなかった。物が壊れていくのを表現するシーンなので何度も作り直した」と苦労を語った。

直前のリハーサルまで一度も成功しなかったが、本番はセットの本が逆になるなど想定外のトラブルがあったものの、なんと最後まで演技できた。結果は18点、満点の20点取れなければ入賞はないと聞いていただけに、アイデア賞受賞の喜びは大きかった。審査員にはタイトル「ネーミングセンス」や「ストーリー性が評価された。青木さんは「次の大会への出場も考えている。今度は20点もらえるように作品作りをしていきたい」と抱負を語った。

熱(37.5度以上)や風邪の症状がある場合には、直ちに実習を中断し、医療機関で受診すること▽実習校と大学に必ず状況を報告すること▽麻疹罹患の有無や、麻疹ワクチン接種の有無を家族に確認すること▽麻疹に罹患したことがなく、麻疹ワクチンを接種したことがない者は、予防接種を受けるようにする。

学生への対応は、保健管理センターに集められる罹患者の状況や数などの情報を基に、「成人麻疹防止対策会議」(代表＝腰塚武志副学長・学生生活担当)において検討する予定だ。麻疹に罹患した場合の連絡先は保健管理センター(内線番号2410)となっている。

など16会場で開催され、昨年より962人多い延べ7180人が参加した。19日午前が雨天だったため2種目が中止され、日時変更された競技も多かった。各会場では、正式種目のソフトボール、バスケ、ボウリングなど5種目のほか、サークル企画として体操部によるパランスポーツを使用したパフォーマンスや、ライフル射撃部による試射会などが行われた。

「スポーツフィールド以外にも気軽に楽しめる競技がほしい」と話した。SD選手権で優勝した山本裕貴さん(情報4年)は「出場できて楽しいと思っていたら優勝してしまいたい。最高です」と話した。委員長の古賀亮佑さん(工総3年)は「秋季ではさらに楽しんでほしい」と話した。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。早く自分の研究がしたいという学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

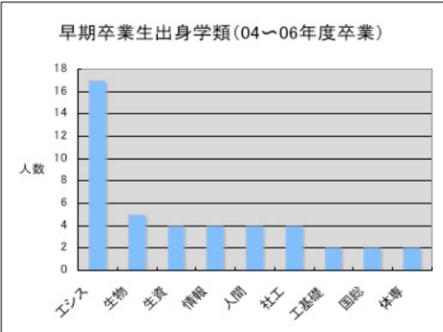
「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。



1989年。政府は人材育成の起爆剤になると期待を寄せたが、普及には至らなかった。飛び級の抱えるリスクが、普及しなかった理由の一つだ。大学院への飛び級

2000年の学校教育法改正で可能になったのが、早期卒業制度だ。本学では02年度入学生から実施し、現在までに45人の早期卒業生を出している。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

早期卒業導入から5年

学業に秀でた学生に、早くから研究の経験を積ませる目的で、本学では早期卒業制度を取り入れている。欧米などでは個々の能力に応じた教育を行うとの考え方が一般的で、就学年齢に制限のない大学も多い。近年、日本でも全国的に大学院への早期入学を推し進める傾向にあるというが、制度が始まったのが、

1989年。政府は人材育成の起爆剤になると期待を寄せたが、普及には至らなかった。飛び級の抱えるリスクが、普及しなかった理由の一つだ。大学院への飛び級

2000年の学校教育法改正で可能になったのが、早期卒業制度だ。本学では02年度入学生から実施し、現在までに45人の早期卒業生を出している。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

3年で卒論必要な努力

とす国家試験を受けることができないなどの問題があった。

また、2学期入学生が活用するケースもあるようだ。学務課の関瑞穂さんは「学生の選択肢を増やすことができ、多様なニーズに応えられる」と説明している。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

02年度から45人が卒業

大学院への飛び級と違い、学十号が認められるため、活用する学生も増えた。工学システム学類では、成績が上位5%の学生に、早期卒業する資格を与えているが、例年その半数近くが早期卒業に志すという。これまで早期卒業した学生は、全学類中最多の17人

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

情報技術者育成プログラム 企業と連携 09年開講

院に続き、学群で初の試み

情報技術者育成のための教育プログラムとして、09年度から3年間、「組み込み技術者」を育成する。導入から4期目を迎える早期卒業制度。勉強や人間関係など、大変なこともあるようだが、一番重要なのは、学生のやる気なのではないか。成績優秀で意欲のある者に、大学院への門戸が早期に開かれていることは、マイナスではない。(本紙小笠原介II体育専門学群)

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

「大学で学ぶよりも早く自分の研究がしたい」という学生が、本学で独自の研究を行っている。

言葉を見つめる

「不偏不党」というのは、桐政会が設立当初にまず掲げた言葉である。特定の主義・主張に偏らず、政治的中立を保つという意味で使われる。2005年冬、桐政会は社会学類の1年を中心に設立された。その経緯を振り返ってみると、社会問題について自由に意見を交わすことができる場が、東京の大学に比べると格段に少ないことが問題意識の出発点としてあった。

確かに法律や国際関係など特定の視点から社会を見る機会が存在したものの、もっとジャンルの制約を外してみたらいいのだ。だから桐「政」会と銘打っているものの、決して政治の視点のみを強調しているわけではない。

しかし現実の社会問題は憲法論議一つとっても分かる通り極めてデリケートであり、無秩序な議論は桐政会をいつの間にか政治的主張を声高に叫ぶ集団へと変貌させかねない。そこで一つのルールを決めた。それが「不偏不党」だった。

桐政会代表 細谷恭一郎

「不偏不党」という言葉を、桐政会が設立当初にまず掲げた言葉である。特定の主義・主張に偏らず、政治的中立を保つという意味で使われる。2005年冬、桐政会は社会学類の1年を中心に設立された。その経緯を振り返ってみると、社会問題について自由に意見を交わすことができる場が、東京の大学に比べると格段に少ないことが問題意識の出発点としてあった。

「不偏不党」という言葉を、桐政会が設立当初にまず掲げた言葉である。特定の主義・主張に偏らず、政治的中立を保つという意味で使われる。2005年冬、桐政会は社会学類の1年を中心に設立された。その経緯を振り返ってみると、社会問題について自由に意見を交わすことができる場が、東京の大学に比べると格段に少ないことが問題意識の出発点としてあった。

「不偏不党」という言葉を、桐政会が設立当初にまず掲げた言葉である。特定の主義・主張に偏らず、政治的中立を保つという意味で使われる。2005年冬、桐政会は社会学類の1年を中心に設立された。その経緯を振り返ってみると、社会問題について自由に意見を交わすことができる場が、東京の大学に比べると格段に少ないことが問題意識の出発点としてあった。

「不偏不党」という言葉を、桐政会が設立当初にまず掲げた言葉である。特定の主義・主張に偏らず、政治的中立を保つという意味で使われる。2005年冬、桐政会は社会学類の1年を中心に設立された。その経緯を振り返ってみると、社会問題について自由に意見を交わすことができる場が、東京の大学に比べると格段に少ないことが問題意識の出発点としてあった。

「不偏不党」という言葉を、桐政会が設立当初にまず掲げた言葉である。特定の主義・主張に偏らず、政治的中立を保つという意味で使われる。2005年冬、桐政会は社会学類の1年を中心に設立された。その経緯を振り返ってみると、社会問題について自由に意見を交わすことができる場が、東京の大学に比べると格段に少ないことが問題意識の出発点としてあった。

祭りに恋したやどかり達

第33回 新学群からゆかコン嬢 2種類の相撲も会場沸かす

「祭りに恋する2日間」をキャッチフレーズに、5月26日、第33回宿舎祭(やどかり祭)が開催された。25日に予定されていた前夜祭は雨天のため中止されたものの、本祭は天気に恵まれ、恒例の御輿パレードやゆかたコンテストは大盛況だった。今年度は、やどかり祭初めての展示企画「Blue Gallery」が開催された。模擬店は、本祭のみで57団体が出店した。本紙・松本典子Ⅱ人文学類、馬野裕亨、冲山京Ⅱ社会学類、八木悠気Ⅱ比較文化学類、上野一樹Ⅱ心理学類、柏零Ⅱ社会学類、篠崎真希Ⅱ国際総合学類

第33回やどかり祭が5月26日午前11時20分、委員長の樋口隆秀さん(社工3年)のあいさつで始まった。前夜祭は、雨天のため中止されたが、本祭は天気にも恵まれ、会場は集まった学生たちの歓声に包まれた。

◇展示企画
やどかり祭初の展示企画「Blue Gallery」が、平砂4・6号棟間の池周りで開催された。26日午前11時20分、委員長の樋口隆秀さん(社工3年)のあいさつで始まった。前夜祭は、雨天のため中止されたが、本祭は天気にも恵まれ、会場は集まった学生たちの歓声に包まれた。

◇御輿パフォーマン
午後3時からは平砂地区内で御輿パレードが行われた。「ボンデライオン」をかたどった地球・化学・物理学類の御輿を先頭に、今年度は芸術専門学群が優勝した。優勝した御輿は「祭り」を彩る鳳凰をテーマに、「彩鳳」と名づけられた色鮮やかな鳳凰をかたどったもの。パフォーマンズでは白い布を雲のようにひかせる幻想的な演出と、棒を使った激しいダンスで会場を魅了した。芸専は昨年規定違反で失格となっており、今年はその雪辱を見



優勝した芸専の御輿パフォーマンズ



5月25日開催予定のやどかり祭前夜祭が、雨天のため中止された。昨年や4年前のやどかり祭では、本祭が雨天のため順延されたが、前夜祭が中止されることは珍しい。

前夜祭中止の影響を受けて、前夜祭に出店する予定だった約50の屋台が出店できなくなった。

前夜祭と本祭でコロッケの販売を行うはずだった川口雄也さん(比文1年)は「前夜祭が中止になり、売

屋台や発表に影響

前夜祭中止の影響を受けて、前夜祭に出店する予定だった約50の屋台が出店できなくなった。

また、5団体が参加する予定だった前夜祭の野外ライブステージも開催することができなくなった。

前夜祭のライブステージに参加する予定だったついでに、フォーク村の福庭規子さん(図情3年)は「やどかり祭のライブステージにあわせて練習してきたので、みんなに見てもらえなくて残念だった」と嘆いた。



GACHI相撲で優勝した小池さん(左)

ある巨大紙力士を用いて、古典的なトントン相撲をして競い合った。

「グローバルGACHI相撲」では9団体の代表者が本格的な相撲をした。手話サークルは決して言葉を使わず手話だけで話し、剣道同好会、医学アムフト部などは各団体のユニフォームを身につけるなど団体特有のパフォーマンスも見られ会場は熱気に包まれた。

「グローバルGACHI相撲」で優勝した絶倫玉選手と小池崇人さん(情報4年)は「お遊びのつもりだったが勝ち進むうちに真剣になってしまい、決勝ではすごく緊張した。優勝できてうれしかった」と喜びを語った。

筑波マリンダイビングクラブ

マリンダイビングクラブは、本学が開学した1973年に活動を開始した。毎週水曜日と土曜日に屋内プールでスキューバダイビングの練習をしている。その目標は、「海の良き、怖さを共に知ることを通じて楽しむこと。それに

よって環境について考えること」だ。

現在メンバーは14人。初心者も多く、水泳が得意でない人も気軽に参加できる。「コーチはおらず、主に指導するのはライセンス講習を受けた上級生だ。現在はほとんどの部員がダイビングをする許可が得られるライセンスを持っている。

練習では普段から、マスク、フィン(足ひれ)、シュノーケルを身につけている。フィンを水中で脱いで、あがる時までに履く「片フィン」という練習は、海でフィンを落としたときでも、落ちついて行動できるようにするために行われる。このような実践的な練習によって、海でダイビングをするときに余裕ができて、慎重な行動をとることができる。

代表的な活動は、春夏秋冬の3回、5泊6日程で行われる合宿



仲間と潜る海の世界

に、Tシャツに1文字ずつ文字を書いて水中で先輩に見せる。声に出さなくても、いつも活動してきた水中での出来事は大きな感動を与える。

そのほかの活動としてはお自場で行われる東

らゆかコン嬢が出場した。今年度グランプリに輝いたのは、体育専門学群1年の柿崎まりこさん。準グランプリは人間学群1年の西田泰代さん(個性派賞には、理工学群1年の小磯綾子さんがそれぞれ選ばれた。

体専の柿崎さんのパフォーマンスでは、演歌調のロマンポな音楽に合わせたダンスから、アップテンポな音楽に合わせた肉体的パフォーマンスへと切り替わり、体専の魅力を最大限にアピールした。最後は、日ごダンスで磨いた技を見せつけるかのように、柿崎さんが回転しながら天に向かっつらせん状に腕を伸ば



体専のパフォーマンスは会場を盛り上げた

取り入れようと話していた。みんなで頑張ってきた。部活の関係で少ない練習時間しか取れないなかでの成功を喜んだ。

観客の川村隆之さん(障書1年)は「どの学群もそれぞれの個性を活かしたパフォーマンスをしていて非常に面白かった」と語った。

ゆかコン終了後、会場では花火が盛大に打ち上げられた。学生たちははしゃぎを取り囲み、ヤドカリ音頭を歌い踊った。

識情報・図書誌学類)

平砂浴場 午後9時半まで

夏休み宿舎

夏季休業(7月31日-8月31日)に伴い、学生宿舎共用棟の福利厚生施設の営業日時が、次の通りに変更される。

■平砂食堂 午前11時-午後6時半。
土曜、日曜、祝日は休業。
8月11-14日は休業する。

■一の矢食堂 午前11時-午後2時、午後5時半-午後7時半。
土曜、日曜、祝日は休業。
8月11-15日は休業する。

■売店 午前9時-午後9時。
平砂売店は、8月11-19日にかけて休業する。一の矢、午後5時-午後9時半。追越売店は営業する。

大学説明会

8月1日から3日間 大学説明会が8月1日から3日間、学類ごとに行われる。初日の1日は人文、日比文、社会学、生物、数

国総、生物、地球、応用理工、社会学、情報、看護、2日は比文、社会学、生物、数

がれば消えてしまった。あとは笑わせようと思っただけ。借しこも優勝は逃したものの、「最初から最後まで客を笑わせたい」という思いのままに演じきった。

夏休み図書館

土日・祝日は閉館

夏季休業期間(7月31日-8月31日)の附属図書館の閉館時間と貸出期間は次の通り。

■中央・体芸・図情図書館 開館 午前9時-午後5時 貸出 午前9時-午後4時

■医学図書館 開館 午前9時-午後8時 貸出 午前9時-午後7時

各館とも土日・祝日は閉館する。8月13日、14日は閉館する。6月22日から8月23日の間に貸出、更新を受けた図書は貸出期間が通常より延長される。返却期間は貸出日に応じて9月3日から9月14日までのいずれかの日になる。

募金の お知らせ

地域研究研究所に所属するシヤクダバドラルザヤさんが腎不全で苦しんでいる。「ザヤさんを救う会」起人、小野澤正喜教授・歴人(一)では、ザヤさんが腎臓移植手術を受けられるよう、募金を受け付けている。ザヤさんは健康保険に加入しているため、手術自体にさほど費用はかからないが、腎臓提供者への謝礼や術後の生活費などがかか

催事

◆第6回金属彫刻作家新鋭展 Metal Spectra 300円。

開館時間は午前10時から午後6時。月曜日、祝日の翌日は休館(ただし土曜、日曜は開館)。入場料金は一般500円、中学生半。料金は未定。

演奏会

◆「第23回つくば国際音楽祭」はふれあいコンサート「パッパが街にやってくる」9月2日午後3時から、ノバホール。

役者(クラウン(道化師)と音楽が贈る、愉快な音楽バラエティー。パッパの名曲やジャズ、映画音楽などを織り交ぜた、子どもも大人も楽しめるファミリーコンサート。開場は午後2時半。料金は未定。

Who's Who?

落語の全国大会で敢闘賞受賞

伊藤 豪康 さん (数物2年)



今年2月、第4回全日本学生落語選手権大会が岐阜県で行われ、香車亭龍鶴(やりていろう)と伊藤豪康さん(数物2年)が3年ぶり2度目の決勝進出を果たし、敢闘賞を受賞した(本紙4月号に記事掲載)。

総勢123人の出場者のうち6人という狭い決勝進出枠を見事勝ち取った受賞だった。

大会で披露した演題は、伊藤さん自作の、老夫婦とその家族による物件探しでのドタバタ劇「不動産屋」。実は昨年と同じ演題で同大会に出場

関西弁を巧みに操る 三枝さんの手紙に感激

過去の失敗の冷静な分析が今回の結果につながった。

伊藤さんが落語と出会ったのは5年前。大学1年生の時の新生活歓迎会で、落語研究会に声をかけられたのがきっかけだった。

転機は1年の冬、上方落語との出会いだった。関西弁を巧みに操る観客を笑わせる、まさに伊藤さんのイメージ通りの落語だった。この頃から、扇子と手拭い、そして顔の表情だけを、一人で大勢の観客を笑わせる落語の楽しさに目覚めていった。「風呂でもトイレでも、暇さえあれば落語を口ずさんでいた」と振り返る。

入部2年目の冬、築波大賞の第1回大会が開催され、伊藤さんは100人を越える出場者の中から見事決勝に進出。決勝の様子はBSで全国放送された。「緊張はしたが、いったん高座に上

ていたイメージの食い違いから、なかなか落語を笑しむことができなかった」という。

転機は1年の冬、上方落語との出会いだった。関西弁を巧みに操る観客を笑わせる、まさに伊藤さんのイメージ通りの落語だった。この頃から、扇子と手拭い、そして顔の表情だけを、一人で大勢の観客を笑わせる落語の楽しさに目覚めていった。「風呂でもトイレでも、暇さえあれば落語を口ずさんでいた」と振り返る。

入部2年目の冬、築波大賞の第1回大会が開催され、伊藤さんは100人を越える出場者の中から見事決勝に進出。決勝の様子はBSで全国放送された。「緊張はしたが、いったん高座に上

新人記者募集

編集部では新人記者を募集しています。企画の立ち上げから取材、執筆、編集まで全て学生の手で行っています。マスコミに興味のある方、人と話すのが好きな方、ぜひ一度編集室にお越し下さい。2年生、パソコンに強い方大歓迎です。

☆編集会議：毎週月曜 午後6時半から 共同研究棟A棟104
お問い合わせ(編集室)：029(853)6699
shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

次号は

9月3日(月)

発行予定です

大学会館書籍部ベストセラー

1	女性の品格	板東真理子/PHP研究所
2	生物と無生物のあいだ	福岡伸一/講談社
3	一瞬の風になれ(一)イチニツイテ	佐藤多佳子/講談社
4	1ポンドの悲しみ	石田衣良/集英社
5	一瞬の風になれ(二)ヨーイ	佐藤多佳子/講談社
6	食い逃げされてもバイトは雇うな	山田真哉/光文社
7	一瞬の風になれ(三)ドン	佐藤多佳子/講談社
8	なんくるない	よしもとばなな/新潮社
9	鈍感力	渡辺淳一/集英社
10	ドリームバスター	宮部みゆき/徳間書店

5月の1位は、板東真理子の「女性の品格」。2位は福岡伸一の「生物と無生物のあいだ」。著者が生物学者として自身の歩んできた道を振り返りながら、DNAがなぜ「生命」を規定しているかを説く。遺伝子組み換えなどで「生命」に機械的に手を加える現在の状況に二石を投じる書。

催事は、LECフェア(15%オフ、29日まで)、自然の会フェア(15%オフ、7月20日まで)。

筑波自然図鑑

◇アマガエル◇



みなさんはこのカエルに2種類の鳴き方があるのをご存知だろうか。一つ目は「雨鳴き」と呼ばれる鳴き方で、雨が降りそうになると昼夜関係なく鳴く。本種の名前の由来となっている鳴き方だ。2つ目は繁殖期の春から夏にかけて、夜の水田にこだまするオスからメスへのラブコールだ。

本学周辺でも大合唱を聞くことができる。梅雨の6月。今月はたぐさんの雨鳴きが聴かれることだろう。(写真・文：小粥隆弘野、生資2年 野生動物研究会)